

平成31年度使用小学校各教科（道徳以外）、中学校道徳
教科用図書の選定結果のまとめ

鹿沼市立小中学校教科用図書選定委員会

小学校各教科（道徳以外）

教科	選定結果 発行者略称 記号・番号(使用学年等)	選 定 理 由
国 語	光村図書 国語 139 140 (1年上下) 239 240 (2年上下) 339 340 (3年上下) 439 440 (4年上下) 539 (5年) 639 (6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章の教材では、芸術性の高い作品や、児童の想像力や豊かな心の育成に配慮した教材が厳選されている。 ・第3学年以上の1学期の説明的文章において2教材が配置され、主体的に児童が考え、表現力の育成が図られるように配慮されている。 ・説明的文章の教材では、段落の関係が分かりやすいものが取り上げられていて、児童が基礎的・基本的な内容を身に付けることができる構成になっている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」がバランスよく配列され、2学年ごとの段階を追った系統立てた指導ができるよう配慮されている。 ・各学年において、読み物教材の最後にある「本は友達」や、第3学年以上の「この本、読もう」で、発達の段階に即した図書を紹介し、発展的な読書につながるよう配慮されている。 ・「たいせつ」の印で、生活や他領域で役立つ内容が取り上げられている。 ・巻末付録『「たいせつ」のまとめ』で「話す・聞く」「書く」「読む」の内容ごとに整理されている。
書 写	光村図書 書写 135 (1年) 235 (2年) 335 (3年) 435 (4年) 535 (5年) 635 (6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事項から応用場面へと、段階的に学習できるよう配慮された単元構成になっている。 ・全学年で「国語の学習に生かそう」のコーナーを設け、書写の学習で身に付けた知識・技能を活用できるよう配慮されている。 ・画の方向や点画のつながりなど基本的な技法が、イラストや写真で分かりやすく表現されている。 ・「もっと知りたい」のコーナーが設けられ、文字・筆・紙・墨・硯などに関する情報を載せ、児童の興味関心をひくよう工夫されている。 ・筆使い（穂先）を詳しく示し、始筆・送筆・終筆の仕方を捉えやすくする工夫がされている。 ・当該学年だけでなく、前学年で学習した漢字も巻末に掲載されている。
社 会	日本文教 社会 337 338 (3・4年) 537 538 (5年上下) 637 638 (6年上下)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方や追究活動を中心とした記述とし、児童の「主体的な学習」を支援する手引きとなるよう配慮している。 ・学習指導要領の趣旨である「調べ、考え、表現する」をふまえ、児童の素朴な疑問から、問題をつかみ、見通しをもって調べ、考え、解決していく流れとなっている。 ・栃木県の事例が多く取り上げられ、地域や児童の実態を考慮した単元構成となっており、地域学習に生かせるよう選択的な学習や複線的な学習を取り入れ、学習が進められるようになっている。 ・各学年の「ふりかえてみよう」における「ふりかえりシート」への書き込み、47都道府県ぬり絵マップ、県の学習での白地図、5年の日本や世界の地理的な学習では、地図帳や地球儀の一層の活用を図っている。 ・全学年を通じて、児童の立場からの発言や話し合い、児童のもっている力を最大限に発揮しての調べ活動や表現活動、学習内容の整理の仕方などを示唆している。その際、人々との出会いやメディアの活用など、作業的・体験的な活動を児童の発達の段階をふまえて位置づけている。
地 図	帝国書院 地図 432 (4・5・6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地方別の地図は、土地利用表現や絵記号を採用し、豊富に掲載された主題図からも自分の住んでいる地域の人々のくらしや風土がわかるようになっている。 ・郷土の学習で活用できるよう、市町村合併前の旧市町村名も掲載されている。(栗野や西方などの地名が記載されている。) ・日本とそのまわりでは、近隣の国々との位置関係、北方領土・竹島・尖閣諸島などの日本の領域および周辺海域を正しくとらえられるよう、国別に色分けした地図を掲載していて、近隣諸国もわかりやすく描いている。 ・栃木県の扱いについては、地図の中に農産物、伝統工芸品、工業製品がイラストで表現されている。また、「関東地方」の地図を活用することにより、周辺の都県とのつながりや本県の特色がとらえやすいよう

		に工夫されている。
算 数	東京書籍 算数 131 132 (1年上下) 231 232 (2年上下) 331 332 (3年上下) 431 432 (4年上下) 531 532 (5年上下) 631 (6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「単元のプロローグ」では、児童の身の周りにある物を算数の視点で捉え直すことにより学習意欲を高める内容となっている。また、既習内容を振り返ることにより、導入がスムーズになるよう配慮されている。 ・「考えよう伝えよう」を2年下巻から全巻に配置し、児童の考えを式や図などの数学的な表現を用いて、算数科の特性を生かした言語活動例として提示してある。他者の考えを読み取って説明する活動を通して、筋道を立てて考え表現する力が身に付くよう工夫されている。 ・全学年にノートづくりの例「算数マイノートをつくらう」が設けてある。学年発達段階に配慮した記述内容の構成になっているので、自分の考えや友達の考え、学習の感想などを書く活動を通して、主体的に言語活動ができるように配慮されている。 ・巻末に基礎的・基本的な技能の定着のための「ほじゅうの問題」がある。難易度別の2段階の問題なので、個々の習熟度に応じて取り組むことができる。また、解答も掲載されているため、個々の学び直しや家庭学習でも使え、自学自習の学習習慣を身につけられるようになっている。 ・既習内容を総合的に活用し、統計資料から読み取りや考察をする内容「算数の目で見よう」(5, 6年)では、複数のグラフから必要な情報を読み取って数学的に分析、考察し、児童の活用する力を高める問題を豊富に取り上げている。 ・「かたちであそぼう」「数と計算であそぼう」「算数のおはなし」「おもしろ問題にチャレンジ」「算数おもしろ旅行・算数卒業旅行」等のページでは児童自身が探究する活動を通して、算数の学習を深め、広げる場が設定されている。
理 科	啓林館 理科 336 (3年) 436 (4年) 536 (5年) 636 (6年) (わくわく理科プラス) 理科 337 (3年) 437 (4年) 537 (5年) 637 (6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決能力を育成するために内容を精選し、単元の導入から、予想や実験方法、結果、考察、まとめなどが一連の流れになっていて、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・観察・実験の予想・計画、考察の場面では、適宜「話し合い」を設け、具体的な発問も例示するなど工夫されている。また、別冊「わくわく理科プラス」でも、自分の考えを書き込むことで、導入時の言語活動が充実するよう工夫されている。 ・観察・実験の予想・計画、考察の場面では適宜「話し合い」を設け、具体的な発問を例示するなど工夫されている。 ・観察・実験の結果とその結果からわかったことの違いを明確にすることに配慮されている。また、新たな疑問をもてるよう学習内容の順序に考慮しながら、再現性・客観性のある実験へと発展させ、科学的な概念を形成できるよう配慮されている。 ・環境教育、キャリア教育を意識しており、理科と社会生活を関連させている点が興味深い。 ・「わくわく理科プラス」を補助ノートや家庭学習ノートとしても使用でき、既習の内容に目を向けたり、学習のまとめと思考力の育成を図ったりできるように工夫されている。 ・必要性の高い重要な写真や資料を上手く配置し、思考がつながりやすいように工夫されている。
生 活	教育出版 生活 137 138 (1・2年)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の身近な生活の中から素材を取り上げている。児童が親しみをもち、興味をもてるように配慮されている。 ・全単元にわたり、友達や保護者、地域の人々との双方向の交流活動が設定されており、交流を通して学習が高まっていくように活動が工夫されている。 ・上巻では、自然の不思議さやおもしろさ、美しさなどの自然事象を大切に、体験活動から科学的なものの考え方を学べる。下巻では、見通しをもつ、予測する、試行錯誤をするなどの活動を設定し、論理的な思考を育むことができるように工夫されている。 ・上下巻ともに「はっけんひと」コーナーを随所に、「ぐんぐんポケット」を巻末に配置して、学習の補充ができるように配慮されている。 ・季節の流れに沿って大単元が構成されている。適切な単元配列構成が考えられ、活動展開が見通せるように配慮されている。目次には「月」が示され、活動の時期の目安となっている。
音 楽	教育芸術社 音楽 132 (1年) 232 (2年) 332 (3年) 432 (4年)	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の音楽づくりにおいて、友達と関わり合いながら主体的に楽しく活動できるように工夫されている。 ・表現や鑑賞の各活動から感じ取れる音楽をつくっている要素について、具体的にどのような学習内容に活用するのかを示すことにより、〔共通事項〕を意識した学習の手助けになるように工夫されている。 ・低・中・高学年の発達の段階を踏まえて、児童の基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう、題材構成や表記の仕方について配慮され、

	<p>532 (5年) 632 (6年)</p>	<p>活動の手順が簡潔に示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や演奏の技能については、発達の段階を考慮した無理のないステップが踏まれている。 ・「音楽づくり」の活動では、題材のねらいに即して、表現（歌唱・器楽・音楽づくり）と鑑賞の関連が図られるよう構成されている。 ・学習指導要領の目標や内容に対応し、2学年ごとのまとまりを意識しつつ、系統性をもたせて展開できるよう配慮されている。 ・発達の段階に応じて幅広いジャンルの音楽と出会えるよう配慮されている。 ・「音楽づくり」の活動では、前の学年の学びが次の学年の学びにつながるよう配慮されている。 ・世界の音楽や文化を扱った教材、自然や社会、道徳的心情をテーマにした教材、インターネットの活用を取り入れるなど、学習内容が生活や他教科等と関連付けて活用できるよう配慮されている。 ・共通教材を「こころのうた」として提示し、説明文や情景写真を掲載することにより、日本の自然や四季の美しさを味わい、感受性を働かせながら歌えるよう配慮されている。 ・我が国の郷土を愛する心を育成することができるように「歌いつごう日本の歌」で、古くから親しまれている日本の歌を紹介したり、裏表紙に「祭りと楽器」の写真を掲載したりして、日本の音楽がより身近に感じられるよう配慮されている。 ・音楽専門の指導者ではなくても、指導しやすい内容になっている。
<p>図画 工作</p>	<p>開隆堂 図工 131 132 (1・2年) 331 332 (3・4年) 531 532 (5・6年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じて、題材が系統的に配列されている。「造形遊び」「絵」「立体」「工作」の各領域のバランスについても細かく配慮されており、使用する道具や材料もふさわしいものが示されている。 ・各題材で育てたい能力がページ最上部に目立つように端的に示されており、教師も児童も導入時に見通しをもちやすい。また、振り返りのポイントを観点ごとに示し、評価にも役に立つページ構成になっている。 ・[共通事項]への配慮がなされ、各題材に示された活動の振り返りにおいて「色」や「形」に着目できるように意識的に文言が使用されている。 ・基本的な技法や材料、安全事項、製作手順などを同色の枠で囲んで示し児童が活動を進めていく上での配慮がなされている。 ・巻末の「道具箱」では、注意を促す言葉やマークが示されており、安全に表現活動ができるよう配慮されている。また、「パレットコーナー」では、基礎的・基本的な知識や技法が絵や写真などで分かりやすく示してある。 ・「みんなのギャラリー」のページを設け、地域の取り組みや伝統美術について触れることにより、社会に関わりながら生きる態度の育成を目指す工夫をしている。 ・児童が日常生活の中で活用できるような題材が、各学年に配置されており、1・2年では、就学前の体験や生活科の学習を生かして取り組める活動を設定するなど配慮されている。また、高学年においては中学校で生かされるような内容を扱っている。 ・A4サイズで見やすく、ページのスペースが広がった分、より多くの情報を紙面に取り入れられている。特に参考作品の写真が充実しており、例が多く示されている分、これから製作する作品をイメージしやすい。 ・教科書の裏表紙に魅力ある写真が多数掲載され、スペースが有効活用されている。教科書を手にとって見たくなるような工夫がされているといえる。 ・色は教科書にとって重要な要素であるが、カラーユニバーサル機構認証マークが示され、色覚の個人差に対応する配慮がなされていることがわかる。
<p>家庭</p>	<p>開隆堂 家庭 532 (5・6年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨が生かされ、児童の実態に応じた4つの内容が段階的に取り扱われている。2年間を見通したストーリー性のある構成であり、「家庭生活と家族」を軸にスパイラルに展開されている。 ・時期や季節にも配慮されており、伝統文化やキャリア教育の視点を具体的に示している。 ・題材は「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して最後には「振り返ろう・生かそう」で家庭実践につなげるように工夫され、学習過程では「できたかな」チェックなども取り入れ、児童が主体的に無理なく学習を進めるための配慮がなされている。「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」などの課題が適切に配置されている。また、課題解決のための例示や写真、図表、イラストが記載されている。 ・5学年では題材を細かく構成・配列し、スモールステップを踏んで

		<p>繰り返学習して早い段階から調理の基礎・基本の定着を図る工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境マーク」が設けられ学習した内容を生かして、エネルギーや物を無駄なく使おうという意識を高めるように配慮されている。環境を考える3つの視点(3R)に「断る」視点も加えた4Rが明確に記述されている。 ・食生活の内容には「食育マーク」が設けられ、食生活と健康を意識させるとともに、食事のマナーや和食、伝統食や郷土食にも触れ、食物アレルギーについても取り上げられている。
保 健	<p>東京書籍</p> <p>保健 331 (3・4年)</p> <p>531 (5・6年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元とも課題が明確になっていて、「やってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「ふり返ってみよう」など学習のしかたを明示して展開されているので、学習の見通しが立てやすくなっている。 ・小單元ごとに、問題解決型の学習展開となっており、指導者、児童の双方にとってわかりやすい構成になっている。 ・「つなげよう」というコーナーがあり、他学年とのつながり、他教科とのつながりが示されている。 ・わかりやすいレイアウトや親しみやすい絵、写真を取り上げ、学習に意欲的、主体的に取り組めるように配慮されている。 ・大単元の最後に「広げよう」「学習を振り返ろう」のコーナーがあり理解を深めることが期待できる。 ・発達段階に応じ、ポイントを明確にした理解しやすい図が使われている。

中学校道徳

道 徳	<p>日本文教出版</p> <p>中学道徳 725 (1年) 825 (2年) 925 (3年)</p> <p>道徳ノート 726 (1年) 826 (2年) 926 (3年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、生徒の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。 ・内容項目「生命の尊さ」に関して重点化が図られており、全学年三つずつ、3年間を通して九つの教材で繰り返し学べるようになっている。 ・いじめの問題に関しても、様々な内容の教材が取り上げられ、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ・主題名が資料の上部に記されており、本時のねらいが何であるか明確に理解することができる。 ・リアルな挿絵や写真が豊富で、生徒にとって物語の場面や状況を把握しやすく、興味関心を引きやすいものとなっている。 ・道徳ノートがあり、授業の展開をイメージしやすいものとなっている。 ・道徳ノートに自分の考えだけでなく、友人の意見を記入する欄もあり、活発な話し合い活動が行われるよう配慮されている。また、保護者記入欄も用意されており、家庭との連携を大切にしているものになっている。
-----	--	---